

京都市京都市

## 皮膚コラーゲン等を産生させる化粧品原料の開発 産学連携による社会実装の実現

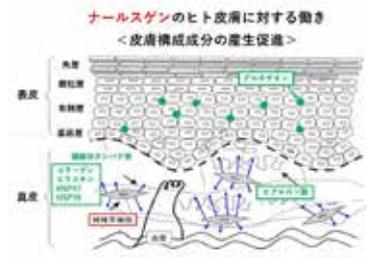
同社は、ヒト皮膚の線維芽細胞や表皮細胞を活性化し、コラーゲンやヒアルロン酸等の皮膚成分の産生を高める「ナールスゲン」を化粧品原料として開発した。これは、現在市場に出回っている魚・動物由来のコラーゲン等の化粧品原料を上から塗布するのは全く作用が異なるものである。ナールスゲンを配合した各種化粧品は角質水分量を高め、肌弾力を向上させるアンチエイジング化粧品として好評を得ている。

●所在地	京都市京都市西京区御陵大原1-39 京大桂ベンチャープラザ2110	●設立	2012年
●電話/FAX	075-748-9524/075-748-9547	●資本金	4,077.5万円
●URL	<a href="https://www.nahls.jp/">https://www.nahls.jp/</a>	●従業員数	4名
●代表者	代表取締役社長執行役員 川崎 元士		



### コラーゲン等の皮膚成分を生み出すアンチエイジング化粧品

京都大学と大阪市立大学の共同研究で見出された物質「ナールスゲン」は、線維芽細胞のGGT酵素を阻害し、一時的に酸化ストレスを生じさせることで、細胞の防御システムを作動させる。結果、線維芽細胞は活性化され、コラーゲン・ヒアルロン酸・グルタチオン等の産生が増強される。衰えた細胞に働きかけて本来の潜在力を引出し、老化した肌に弾力を取り戻す画期的な化粧品原料である。全国有名百貨店やネットショップで自社ブランド化粧品を販売し、国内外の化粧品メーカーには原料を供給している。



ナールスゲンの作用

### 日本で開発された化粧品原料が米国輸出に成功した稀有な例

市場が大きく化粧品への関心が高い米国市場への参入に成功した。従来のコラーゲン等を配合した化粧品とは異なる画期的なメカニズムと、確かな機能性データが高く評価されており、ナールスゲンのブランドで海外進出を果たしている。日本で開発された化粧品原料が米国に輸出されるケースは極めて珍しい。現在も複数の海外企業と交渉を続けており、様々な用途に応用が可能な素材として期待されている。



ナールスゲン配合自社化粧品

### 高付加価値の歯科専門商品を地元企業と共同開発

美容化粧品以外の分野でも、歯科材料販売を行う株式会社ニッシン（京都府）と、口腔粘膜に対する化粧品の共同開発にチャレンジした。コラーゲンやヒアルロン酸等の成分を自身の口腔粘膜細胞に産生促進させ、口腔内の乾燥に悩む高齢者や義歯装着者の口腔内環境を良好に保つことを目指した。2019年11月にナールスゲン配合の口腔保湿剤「keora（ミストタイプとジェルタイプの2品目）」の発売に至った。株式会社ニッシンのルートを通じて現在歯科医療関係者に販売を行っている。



京都大学北部総合教育棟の研究室